

「新しい文化」を語る
第 33 回浜松コンファレンス開催
9 月 21 日（水）から先着順で申し込み受付開始

2016 年 9 月 20 日
公益財団法人 光科学技術研究振興財団
理事長 晝馬 明

当財団は、「文化の日に文化を語ろう」と毎年開催している「浜松コンファレンス」を、11 月 5 日（土）にアクトシティ浜松・中ホール（定員 1,000 名）で開催いたします。参加申し込みは 9 月 21 日（水）から先着順で受け付けます。

この催しは、今年で 33 回目を数えます。今後ますます光技術の重要性が認識されるなかで、今年も地域の皆様に、光技術を使った最先端の研究を紹介させていただきます。

今年も、当財団理事長で浜松ホトニクス株式会社代表取締役社長 晝馬 明が、開催にあたっての挨拶を行い、東京大学宇宙線研究所 所長、特別荣誉教授 梶田 隆章氏が「ニュートリノの小さい質量の発見」をテーマに講演します。また、講演の間に、チェリスト 横坂 源氏、ピアニスト 今西 泰彦氏のデュオによる音楽鑑賞があります。概要は以下の通りです。

記

<開催概要>

第 33 回 浜松コンファレンス 「新しい文化論」

日 時：11 月 5 日（土）

開場 13：00 開演 13：30 終演 17：00（予定）

会 場：アクトシティ浜松・中ホール

主 催：公益財団法人 光科学技術研究振興財団

後 援：浜松市、浜松商工会議所、公益財団法人 浜松観光コンベンションビューロー、
浜松ホトニクス株式会社

定 員：1,000 名（先着順に受け付け、定員となり次第締め切りとさせていただきます）

参 加 料：一般 1,000 円、学生 500 円、高校生以下無料（当日会場で支払）

申し込み方法：住所、氏名をハガキまたは電話、FAX、電子メールで下記へ。

公益財団法人 光科学技術研究振興財団

浜松コンファレンス実行委員会

〒430-0926 浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル

TEL053-454-0598 FAX 053-454-1929 e-mail:hikari@hq.hpk.co.jp

プログラム：

13：30～ 主催者挨拶

公益財団法人 光科学技術研究振興財団 理事長
浜松ホトニクス株式会社 代表取締役社長 晝馬 明

14：00～ 音楽鑑賞

チェリスト 横坂 源 氏
ピアニスト 今西 泰彦 氏

15：00～ 講演 「ニュートリノの小さい質量の発見」

東京大学宇宙線研究所 所長
東京大学特別荣誉教授 梶田 隆章 氏

<今回の講演内容>

「ニュートリノの小さい質量の発見」 梶田 隆章

岐阜県飛騨市神岡の地下では長年ニュートリノの研究が行われてきました。カミオカンデでその兆候が見つかり、スーパーカミオカンデで発見されたニュートリノ振動現象についてお話しし、その意義を概説します。またその後のニュートリノ振動研究の発展と、今後のニュートリノ研究への期待を一般の方向けにお話しします。

(プロフィール)

- 1981年 埼玉大学理学部卒業
- 1983年 東京大学大学院理学系研究科物理学専門課程修士課程修了
- 1986年 東京大学大学院理学系研究科物理学専門課程博士課程修了
東京大学より理学博士
東京大学助手（理学部附属素粒子物理国際センター）
- 1988年 東京大学助手（宇宙線研究所）
- 1992年 東京大学助教授（宇宙線研究所）
- 1995年 東京大学助教授（宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設）
- 1999年 東京大学教授（宇宙線研究所附属宇宙ニュートリノ観測情報融合センター）
東京大学宇宙線研究所附属宇宙ニュートリノ観測情報融合センター長
(2016年3月31日まで)
- 2008年 東京大学宇宙線研究所 所長（現在にいたる）
- 2016年 東京大学特別荣誉教授

(受賞歴)

- 1988年 朝日賞（神岡実験グループとしての受賞）
- 1989年 Bruno Rossi Prize（神岡実験グループとしての受賞）
- 1999年 朝日賞（スーパーカミオカンデグループとしての受賞）
第45回仁科記念賞

- 2002年 W.K.H. Panofsky Prize (小柴昌俊氏、戸塚洋二氏との共同受賞)
2010年 戸塚洋二賞 (平成基礎科学財団)
2012年 日本学士院賞
2013年 Julius Wess Award (カールスルー工科大学)
2015年 基礎物理学ブレークスルー賞
(スーパーカミオカンデ共同実験グループとの共同受賞)
文化勲章受賞、文化功労者
ノーベル物理学賞

<浜松コンファレンスについて>

浜松で「新しい文化論」を生み出す場を設けようと、1984年9月に浜松コンファレンス実行委員会が発足しました。同年の第1回開催以来毎年開催され、第17回からは浜松ホトニクス株式会社が主な出捐者となっている当財団が、光科学技術の普及啓発事業の一環として主催しています。

主テーマを『光』とした講演では、多分野の研究者が最先端のサイエンスで何が行われているかを分かりやすく解説し、そこから生まれる「新しい文化」について考えを発展させてきました。昨年度の参加者は950名で、毎年ほぼ満席となります。



梶田 隆章 氏 (東京大学宇宙線研究所提供)

<この件に関するお問い合わせ先>

浜松ホトニクス株式会社 広報室 野澤 利行
〒430-8587 浜松市中区砂山町 325 番地の 6 日本生命浜松駅前ビル
TEL053-452-2141 FAX053-456-7888
携帯電話 090-7695-1616 (17 時以降は携帯電話にお願いします)

<浜松コンファレンス / 最近の講演テーマ> * 役職は開催時のもの(敬称略)

回 年	主テーマ 会場	講演テーマ	
17 00	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	県西部浜松医療センター顧問・前副院長 金子 満雄	PETで見る 早期老人性痴呆の実態
18 01	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	立川音楽工房・古楽器奏者 立川 叔男	調べは時代を超えて
19 02	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	高エネルギー加速器研究機構・ 東京大学宇宙線研究所教授 戸塚 洋二	ニュートリノ研究 20 年
20 03	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	高知工業高等専門学校長 中井 貞雄	レーザーと未来社会 II 新産業創成
21 04	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	名古屋大学大学院理学研究科教授 三田 一郎	物理学者から見た 神の神秘
22 05	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	総合研究大学院大学理事・ 高等研センター長 菅原 寛孝	光で見た宇宙 ～宇宙は無から創られたか
23 06	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	大阪市立大学大学院・ 医学研究科システム神経科学教授 渡辺 恭良	疲労と意欲 ～見えてきたものと いまだ見えざるもの
24 07	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	自然科学研究機構国立天文台教授 次世代超大型望遠鏡プロジェクト長 家 正則	すばる望遠鏡で探る 137 億年の宇宙史
25 08	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	国立遺伝学研究所・ 集団遺伝研究部門 教授 斎藤 成也	光と遺伝子 ～宇宙の歴史における 生命の歴史
26 09	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所副所長・生命 情報・DDBJ研究センター長 五條堀 孝	眼の起源と進化 ～われわれはどうして光を見る ことができるようになったのか
27 10	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 月・惑星探査プログラム グループディレクタ 宇宙科学研究所教授 川口 淳一郎	「はやぶさ」の帰還への 7 年間の運用と、 今後の展望について
28 11	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	東京大学教授宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設長 鈴木 洋一郎	暗黒物質(ダークマター)の 探索実験
29 12	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	東京大学先端科学技術研究センター 生命知能システム分野教授理学博士 神崎 亮平	昆虫パワーの科学 ー昆虫からみた脳科学・ ロボット・教育の未来ー
30 13	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台長 林 正彦	現代の天文学と宇宙におけ る生命
31 14	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長 特任教授 村山 斉	宇宙に終わりはあるか
32 15	光(ひかり) アクトシティ浜松中ホール	自然科学研究機構国立天文台副台長・教授 総合研究大学院大学数物科学研究所天文科学専攻教授 渡部 潤一氏	宇宙生命は存在するか ー天文学からのアプローチー